芦屋市弘報
芦屋市精道町93
発行所　芦屋市役所
発行人　芦屋市長
編集人　西田増蔵
印刷所　塚田印刷KK
毎月1回20日発行定価2円

昭和二十八年度決算見込と本年度上半期の財政は

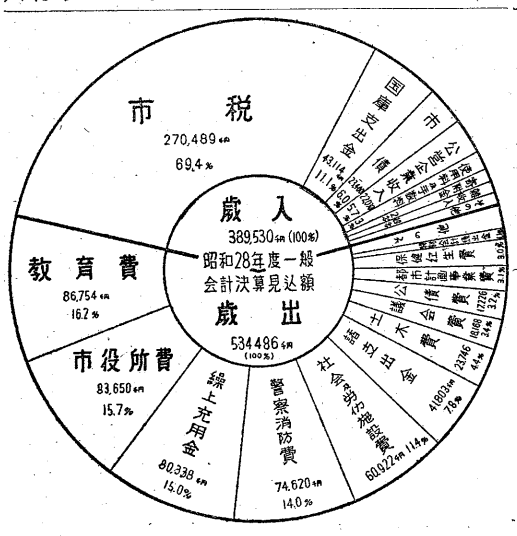
芦屋市の財政白書

昭和廿九年度上半期（4～9月）市財政状況及び昭和廿八年度の決算見込について概要を申し上げます。

前回の報告でものべたように、地方公共団体は、一部都市の外は大部分が赤字財政を抱え込んでいます。その原因は、環境や地域によつて相違はありますが今や全国を通じ都市の悩みとなつています。今これを昭和廿八年度の決算状況からみると、全国二七八市（新しく市になつたものを除く）のうちで実質的に赤字の市は二〇五市七四％（二七年度は二〇一市）繰上充用を行つた市は一五八市五七％（〃一四六市）であり、繰上充用を行つた市のうちで、赤字額が前年度より増加したものは九九市あります。このようにして赤字額が各市とも増加して行く傾向にありますが、それでは本市の場合はどうかというと、昭和廿七年度八〇、三三七千円であつたのに対し昭和廿八年度は一四四、九五六千円と増加を見ています。そこで昭和廿八年度下半期からは、一般経費は勿論各種事業等においても極力節減をはかるとともに、昭和廿九年度からは更に一段と規模を縮少する等赤字の抑制につとめている現状にあります。

昭和28年度一般會計の決算について

昭和二十八年度一般会計の決算見込額は三八九、五三〇千円でこのうち①自主財源即ち市税とか使用料などは三二一、四三二千円②依存財源即ち国や県の支出金などは四四、六九八千円③市債は二三、四〇〇千円であります。して昭和二十八年度最終予算額の六八、一％の収入であります。又支出総額は五三四、四八六千円でこのうち①消費的経費即ち一般行政費その他は二七九、五六四千円②投資的経費即ち建設事業や災害復旧費は一五一、五六五千円③公債費、即ち元利償還金や一時借入金利子は一七、二二六千円④繰出金即ち事業会計への繰出金は五、七九四千円⑤前年度繰上充用金は八〇、三三七千円で昭和二十八年度の最終予算額の九三、四％を執行しています。そこで、才入の不足額は差引一四四、九五六千円でこれを昭和二十九年度の才入から繰上げることになりました。ところでこうした繰上充用額を差引た実際の支出額は昭和二十七年度では四〇六、〇三八千円昭和二十八年度では四五四、一四八千円で前年度より四八、一二〇千円の支出増となります。



昭和29年度上半期の収支は

近年における財政事情については前に申し上げたように毎年赤字額を累加しているので今年度の予算編成にあたつては、既にお知らせしたように緊縮予算をとることにし才入面では極力才入の増加を圖るとともに才出面ではこれら才入を基礎として現在の事務事業に再検討を加え緩急の度合や効率の多寡を勘案して整理削減をはかりました。その結果予算の総額は三九四、二〇九千円となつたのですがこれを昭和二十八年度の当初予算に較べると九〇％四二、四三〇千円の減少で約一割が縮少されています。その後九月末日までに繰上充用額や事業の繰越額或いは地方税制度の改正により昭和二十九年九月末日現在の予算額は五五三、三九二千円となりました。これを前年同期と較べますとその九六％になり約〇、四割を節減しております。このようにして予算面においても極力節減に努めているのですが他方執行面においても事務事業の能率化、合理化を心掛けている次第であります。

地方税財政制度の改革によつてどのように變つたか

この期間で財政上最も大きな変化は税法の改正と警察法の改正でありました。そこでこれらの改正が市財政にどのように影響したでしようか、昭和二十九年度では①才入では④減るもの1税法の改正による市民税四八、五〇〇千円　2同固定資産税六、九九三千円小計五五、四九三千円⑩増えるものたばこ消費税九、〇〇〇千円差引合計減四六、四九三千円②才出では④減るもの公安委員会及び警察費四〇、六八五千円⑩増えるもの警察関係職員退職手当九、二〇〇千円差引（減）三一、四八五千円結局才入才出を差引してみますと一五、〇〇八千円の支出が増加したということになります。

それでは来年度からはどうなるかといいますと上記の計算に準じて大きく見積つて才入面では大体五三、〇〇〇千円ぐらいの収入減となりますが一方才出面では約五六、五〇〇千円程度の費用が不要となりますので差引三、五〇〇千円程度の費用が残るということになります。

たばこ
ぜひ芦屋で！

住民負担の状況は

市民一世帯及び一人当りの負担額については廿八年度の実績によると市民税の調定額では一世帯当り一二、二八〇円一人当り三、一三四円又滞納繰越額は一世帯で四、二二七円一人当り一、〇七九円となつています。

ところで赤字の負担額は昭和二十九年四月一日現在でどのくらいになるかといいますと一世帯当り一一、一一六円一人当り二、八三七円又公債費の負担額は二十九年九月三十日現在一世帯当り一〇、一三九円一人当り二、六八八円です。

公益事業の経理について

①**競馬競輪事業**

この種事業の成績は年低下しつつあつて昭和二十八年度決算見込額についても前年度と比較するときは競馬事業においては大差ないとしても競輪事業においては一五、七七九千円の収入減となり又昭和二十九年度においても同様のことがいえます。従つて最少の経費をもつて最大の効果をあげるべく努力しています。

②**上水道事業**

給水人口、給水戸数は終戦を機として年々増加の傾向にあつて前年度に較べて四〇〇戸の増加を示しています。したがつて配水量にも不足を生じ阪神上水道組合より受水しておりますが九月末までの一ケ年間の受水量は五六二、〇六五立方米であつて總配水量の約一五％にあたります。

経營面においては企業の合理化能率化のため、例えばカナタイプライターを使用して能率の増進をはかり又財務諸表を再検討して逐次企業の成績をあげつつあります

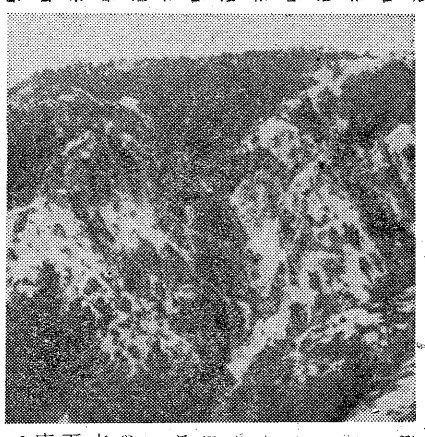
③**市立病院について**

市立病院の経営状況については利用者が益々増加し病室の不足を痛感しておりますので市の財政を考え合せてできるだけ早い機会に増築したいと考えています

この病院の経理方法は上水道事業と同様に一部企業会計方式をとり入れて経理を行つていますが完全に独立採算がとれるまでには至つておらず一般会計より約四〇〇〇千円程度の繰入れを必要とする現状にあります。

以上簡単乍ら昭和二十八年度の決算見込額と昭和二十九年度上半期における財政事情のあらましについて御知らせします。

芦屋のところどころ ⑨ ロツクガーデン



高座の瀧の美しく紅葉した楓の下をくぐると、行くては直ぐ岩壁になる。そこをよじ上ると右手は木の葉がくれに瀧の上流、左は底深い溪谷を見下す尾根だ。眺望は一歩毎に展けるが、足元はたえず嶮しい上り道である。ボロ〳〵に風化した岩石と砂礫で、ともすれは足をすくわれそうである。さ程人里離れてもいないのに、身は既に深山幽谷にある思いがするのは、四囲の山岳が表土を洗い落されて、赤肌の岩漿を露出していて、全般にトゲ〳〵した高山性の感じを與えるからなのだろう。木の根を摑み、岩角にすがつて喘ぎつゝ十町余りも上ると漸く峠に達する。

数株の松の木立の下に茶店が出ている大溪谷を隔てて見遙かす西方が即ちロックガーデンだ。断崖は直下何百丈なるか分らぬ。底まで澄み通つた晩秋の碧空の下に、茶褐色の巨岩、黄色がゝつた砂地、それに所々に群生する濃緑の樹木が、大山塊の急峻を舞台として豪壯な無言の交響楽を奏しているのにもたとうべきか。展望雄大。

ロッククライミングにはよくとゝゝが使われる。群立するこの奇岩と取組んで、初歩の練習をするに格好の条件を具えているというので、この地が関西に於けるクライミング場として、藤木九三氏やRCCの名と共に、世の脚光を浴びる様になつたのは、遠く昭和初年に遡る。爾来星霜移り変つても、代々若人達がこゝでクライミングの手ほどきを受けて巣立つていく。今も僕の脚下で未来のアルピニストが二、三しきりに練習している。「熊事件で騒がれてから登山客が三分の一程にへつたのが痛手だす。」茶屋のおやぢの顔は深刻だ。まつ赤な小さい実を点々とつけたさるとり、いばら、やごま粒程の青い実の一杯みのつたひさかき、やら、うらじろやが、赤松や、アカシヤの疎林の下で、爽かな秋風にかすかにゆらいでいた。

秋冴えて風化にきざむ山肌はなだれするどく谷をふかむる

（西田増蔵）

<〈別表1〉 昭和29年度一般會計の收入状況（昭和29.9.30現在単位千円以下同じ）>

科目	現計予算額	調定額	收入額	対調定額未收入額	收入歩合
市税	285,085	199,030	118,719	80,311	59.6%
地方交付税	7,500	—	—	—	—
公営企業及財産收入	97,752	10,400	10,276	124	98.8
負担金及分担金	827	206	206	—	100.0
使用料及手数料	15,238	7,101	5,256	1,845	74.0
国庫支出金	49,065	20,679	20,129	550	97.3
県支出金	5,750	17	—	17	—
寄附收入	12,635	9,003	9,003	—	100.0
雜収入	63,440	4,745	3,822	923	80.5
市債	16,100	—	—	—	—
繰越金	0	—	—	—	—
合計	553,392	251,181	167,411	83,770	66.6

<〈別表2〉 一般會計の支出状況>

科目	現計予算額	支出額	予算残額	支出歩合
議会費	16,575	7,790	8,785	47.0%
市役所費	88,081	39,056	49,025	44.4
警察費	43,850	20,967	22,883	47.8
土木費	18,382	1,193	17,189	6.5
都市計画費	18,687	1,724	16,963	9.2
教育費	95,731	22,417	73,314	23.4
社会福祉費	63,007	16,165	46,842	25.7
保健衛生費	13,948	5,252	8,696	37.7
産業経済費	3,008	886	2,122	29.4
財産調査費	950	152	798	16.0
統計費	378	86	292	22.8
選挙費	2,834	1,128	1,706	39.8
公債費	19,865	10,414	9,451	52.4
諸支出金	13,427	3,308	10,119	24.6
前年度繰上充用金	145,000	144,956	44	100.0
繰出金	5,800	2,743	3,057	49.3
予備費	3,869	—	3,869	—
合計	553,392	278,237	275,155	50.3

收支不足額　110.826千円

<〈別表3〉 昭和29年度各特別會計收入状況>

会計区分	現計予算額	調定額	收入額	対調定額未收入額	收入歩合
上水道費	30,668	17,253	15,948	1,305	92.4%
病院費	36,021	14,595	14,435	160	98.9
浴場費	4,772	2,181	2,159	22	99.0
地方競馬費	110,629	48	48	0	100.0
競輪事業費	201,992	106,231	106,081	150	99.9
霊園費	12,668	5,519	4,219	1,300	76.5
計	396,750	145,827	142,890	2,937	98.0

全支出状況

会計区分	現計豫算額	支出額	予算残額	支出歩合	收支過不足額
上水道費	30,668	5,952	24,716	19.4%	9,996
病院費	36,021	14,435	21,586	40.1	0
浴場費	4,772	1,241	3,531	26.0	918
地方競馬費	110,629	144	110,485	0.1	△96
競輪事業費	201,992	104,172	97,820	51.6	1,909
霊園費	12,668	2,576	10,092	20.4	1,643
計	396,750	128,520	268,230	32.4	14,370

<〈別表4〉 昭和29年度市税徴收實績　人口（29.4.1）53,607　世帶数（〃）13,968>

税目	予算額	調定額	收入額	調定額 1世帶当	調定額 1人当
現年度分 市民税	230,280	138,393	108,374	9,908円	2,581円
固定資産税	112,639	67,030	53,307	4,799	1,250
その他	90,010	57,292	41,399	4,102	1,069
滞納繰越分	27,631	14,071	13,668	1,007	262
計	54,805	60,637	10,345	4,341	1,131
	285,085	199,030	118,719	14,249	3,712

一時借入金　66,655千円
公債　145,577千円　（市民1人当2,688円　1世帶当10,139円）

◇人権擁護週間　12月4日―10日（13日1時―4時公民館で相談所開設）

12月12日は県知事選挙

あなたには一票を投ずる資格がありますか？

投票する權利があつても、投票する資格を備えていないと、どんな選挙にも投票できません。その資格とは、「あなたの名前が選挙人名簿に載っている」ということです。いま市役所前の選挙管理委員会でこの知事選挙に使う選挙人名簿をみなさんにお見せしています。まだの方はすぐに来て、あなたの名を確めて下さい。期間は11月25日までです。（土、日、祭日も平日通り開いています。）

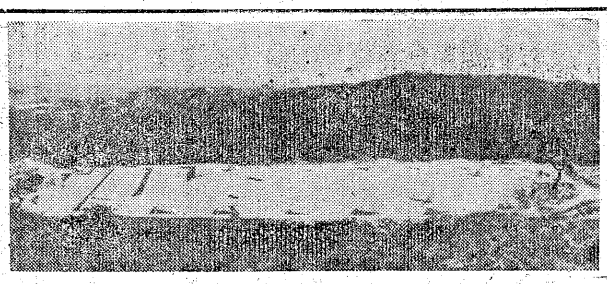
もしその名簿にあなたの名がのっていなければ投票できないのですから、あらためて補充選挙人名簿に登載して貰うため、すぐに「補充選挙人名簿登録申請」を出して下さい。（選挙人でないと申請できません。用紙は委員会にあり、この申請期限も11月25日です）

補充選挙人名簿の縦覧と異議申立は12月3日から7日までの間、同所で行います。折角補充選挙人名簿登録申請をしても、まちがっていては大変、必ずもう一度確めて下さい。

〈御注意〉今年、有権者の御家庭に上って実地調査をしましたのは來年の選挙に使う名簿であって、今回の知事選挙には使わないものです。従って昭和28年6月16日以後に芦屋に住所を定めた人・昭和8年12月21日―9年11月25日に生れた人は、今回の選挙に使う選挙人名簿には登載されていませんから、必ず補充選挙人名簿登録申請をお忘れなく。

共同墓地を調査

市では共同墓地（公光町、三条町、打出春日町、大原町、岩園町）の墓碑施設を調査するため関係各位の御協力により墓地申告書をそれぞれ提出して頂いておりますが、近く調書をとりまとめますのでまだ申告されない墓碑施設所有者は至急墓地委員まで前記墓地申告書を御届け下さいますよう。尚、詳細は芦屋市霊園建設事務所（電話五八二五）で御承知下さい。墓地委員は左の通り



（窓員は霊園）

芦屋地区（公光墓地）

山村豊　精道町九◆山村悦治　西山町一〇六◆猿丸辨治山芦屋町八四◆大利佐一郎　東芦屋町一〇◆好村太三郎　業平町三◆樋口善之助　精道町一〇三◆助野種吉　清水町三◆井上為之助　西山町一三◆山村忠次郎　東芦屋町一〇六◆田沢平兵衛　茶屋之町一六

打出地区

増井竹藏　西藏町三〇◆山本金吉　浜町一三◆大西亀次郎　小槌町三〇◆岩田義勝　西藏町九◆西田治郎兵衛　春日町五六◆阪口淳　春日町七

上宮川地区（大原墓地）

石本新七　上宮川町三◆坂元貞二　大原町一〇六

岩園地区

極楽地武治郎　岩園町七〇◆朝比奈貞雄　岩園町八〇

寺院関係

曽和探玄　安樂寺◆杉本義一　照善寺◆河北円誠　親王寺◆水無瀬一空　照樂寺◆直林明慧　妙福寺

婦人の立場

組織結成に努力

常任委員會で申合わす

10月23日市役所（務局）、清掃法の説明（城で弘報常任委員会衛生課長）、笹田保健所長が、委員多数参集、の挨拶最後に懇談等があり内海市長以下市ましたが、今回は久保委員当局列席の上開か長から、町内の協力措置事れました。市長挨項推進の件について特に要拶、会務報告（事請されました。その要旨は……

各町内常任委員や委員が一町民として音頭をとる丈で、別に主唱者は之に限る訳でなく町内で都合のよき人、お世話願える人は誰とでも御相談の上、市民生活の向上と合理化のために協同動作を必要とする事項について町内の協同体を作ろうという気運を醸成するよう盡力されたい……（尚委員長の眞意は市弘報本年新年号掲載の年頭挨拶文に詳かですからよろしく御参照下さい）

この問題に関連し参考として増田委員より

◆茶屋ノ町「むつみ」会活動状況

芦屋市が文化都市なるためには、まず健康清潔でなければと考え、今春茶屋ノ町全世帯に呼びかけ衛生団体「むつみ会」を結成した。之が運營には役員制をさけ、煩わしい規則は設けず、町内12地区に世話人を置き、之を漸次輪番制にすること。各戸でゴミ箱、便所清掃改造、各自宅周囲の清掃、一世帯月20円以内の会費による薬剤の共同購入等の事業を行つてきた。本年は十分の効果を上げ得なかつたが、來年は薬剤の購入、ゴミの減量に努め、更に完全な衛生地区とするよう期している。と報告、又井上好三郎委員は

◆平田町の「平田会」設立経過

戦後町事務を世話してきた防犯協会が市警廃止に伴い解散したので町民間に平田会を民主的に復活しようとの気運がたかまつてきた。そこで10月14日準備会を開いた結果近く創立総会を開く段階に進んでいる。従来も防犯協会で治安灯の設置管理、各種募金の據出等の事業を町民の軽い負担で有効に行つてきたが結成後は更に部門を拡充整備して、できる丈町民の福利増進、親睦に寄與したい。……と説明されました。その後で増田副委員長は「本日出席の全委員が各自一市民として、各町にその実状にそう市民の自治組織を早急かつ強力に結成することを期する」申合せをしたいと動議を出され、満場一致これを決議しました。

〈追記〉平田会はその後11月4日創立総会を開き、会則を制定し又井上好三郎委員長外諸役員を選任、愈々第一歩をふみ出しました。尚この外にも数町で目下設立準備中です。

弘報委員会

団体の力に

⑫　山村邦子

世の中には唯自分の生活さえ守って居れば事足れりとする考え方の人達が非常に多い。勿論、家庭の安定なくして平和な社会は成立たないが、その様な小さな、利己的、個人主義的な物の考え方の中からは、何の発展も向上も育ちはしない。最近になっても未だに女性が依然として家族制度にしばられ、毎日幾つもの悲劇がくりかえされている。これ等の悲劇を生む矛盾や、困難をたゞ個人の胸深くおさめてしまうのではなく、社会全体の問題として解決して行く事をしなければ、永久に救われはしない。そこに私達は、初めて団体の力を感じるのである。弱い小さい人々が堅く団結して、伸びよう、築こうと手を取り合って立ち上った時に、初めて解決の道が開かれるのである。自分だけの生活を守っている間は、決して本当の幸福は訪れては來ない。私達は個人的な、小さな殻にだけ閉じこもる事を止め、個人の怒りや、悩みを、社会的なものにまで高めて行き、その社会の中に於ける人生、その戦いの中にこそ、意義ある人生を発見出来るものである事を自覚しなくてはならないと思う。

暗い生活を少しでも明るくしたいと希い、それだからこそ、未来の幸福な生活を信じ、新しい社会の建設に黙々として勤めて居られる人達の事業は尊く、そしてその姿は実に立派だと思う。

I氏の言葉は、何時も私の行動と共に想起される言葉なのである。

（浜芦屋町在住）

防潮壁・側溝の工事進む

舗装の工事

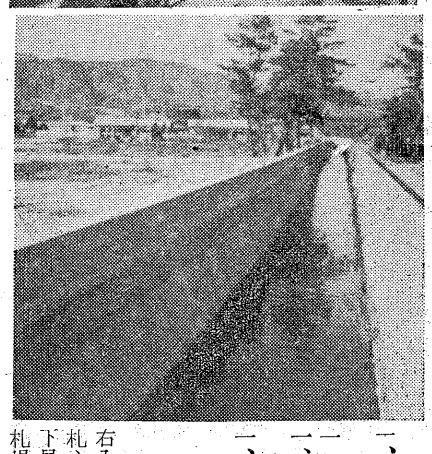
高潮時の逆流に備えて只今宮川下流と堀切川に防潮壁工事が進められています。宮川は県の工事で川原橋以南両岸三七〇米に、大阪湾中等潮位から5米の高さに鉄筋コンクリート壁が築かれつゝあります。この工費五〇〇万円、その¼が市費で来年1月末完成。

また堀切川の方は下流西岸四八〇米に、中等潮位より4米50の高さで同様コンリクート壁を築く失業対策事業、完工は12月の予定。この工事と併行し大東町で

側溝改築工事も行われています。

舗装完成　国鉄芦屋驛北口から田中千代学園に至る四一六米の道路はさる十月末幅員5米の舗装を全額市費をもって完了しました。

（窓員上は側溝、下は防潮壁各工事現場）



秋期火災予防運動

11月26日 ― 12月2日

皆さんのお家でも永い間休ませていた火気使用器具をこれからまた毎日お使いになる事でしょう。

お宅の竈は…ストーブは…ボイラーは…風呂場の焚口は…コンロや火鉢は…火消しつぼは…大丈夫でしょうか、火事になるようなところはありませんか。お使いになる前に又現在お使用中のものも今一度お調べ下さい。もし一寸でも危い！と思うようなところがあればいくら小さな故障でもすぐに修理して下さい。これぐらい…まさかこんなことぐらいでと思うことから火事は起るものです。こうしてみんなで揃って火の用心を心にかけてこの冬こそは火事の一つも無かったとい寒さが日に加わり火の使用のいよいよ多くなる所謂火災期が來ました。

郵便局で納税を

〈市民の聲〉

〈声〉納期が來て近くの郵便局へ行きましたが当市は郵便局を指定していないので取扱う訳にいかぬといわれました。市で手続さえすれば簡単に郵便局でも受付けられる由、末端の市民の便利の為至急手続を願います。（末端一市民）

〈答〉御申越しの件、取扱費用や税金收納後市役所へ送達されるのに相当日数を要する等の難点のため未だ郵便局扱いを実施していません。併し皆様の御便宜を図り、諸難点を度外視してなるべく早く実現いたしたく考えています。当分は阪神打出駅北側、津知の清水湯内で毎月末始め三日間開設の臨時市税取扱所や、神戸銀行駅前支店（国鉄北駅前）同山手支店（阪急芦屋川駅北）等を何卒御利用下さい。

尚10月中に弘報係が受付けた投書、連絡書は25名35件内治安灯修理等が23件、御生関係5件、その他土木、水道、税務等に関する件であり、之に対し28件は御要望通り実施済、全予定4件等となっています。

米の通帳の切替

來る12月1日で、いまお使いのお米の通帳を新しいものと切替えますから、手元にいままでの通帳をお持ちの方は、本月中に登録しておられるお米屋さんに渡して置いて下さい。12月以降旧通帳ではお米の購入は出来なくなります。米屋さんの通帳の回收に御協力を

十一月の新着図書

○フオイエルバツハ　キリスト教の本質（上巻）○ルネ・グルツセ　十字軍○シヤルル・モーラン　地球物理学○ガモフ　月○奈良本辰也　日本の思想家○藤森良夫　初等積分学○藤森良夫　初等微分学○星野華水　チヤート式解析○清野耕治　幾何○白井俊明　化学の歴史○小川芳男　高等英文法○岡田実麿　英作・文法質疑応答○赤尾好夫　英語単語熟語の綜合的研究○日本文芸家協会　文芸年鑑（一九五四）○多田文男　日本航空写眞地理（一九五四）○湊正雄　地層学○五島清太郎　実験動物学○古谷綱武　暮しの美しさ○新村出　改訂増補言苑○宮城音彌　人間診断○阿部知二　現代の戀愛と結婚○福原麟太郎　英文学の周辺○波多野勤子　若き世代○末弘嚴太郎　民法講話○ポール・アインチツヒ　インフレーションへの抵抗○本田喜代治　社会思想史○鈴木良一

倉庫の拂下

一、払下物件　小槌町三市立図書館敷地内東寄り　木造瓦葺二階建倉庫、建坪三坪○五一棟・同附属建物平家建倉庫、建坪一坪九八

一、入札月日　一棟　12日1日午前10時半

一、入札場所　市庶務課

一、入札保証金　入札金額の百分の五以上

一、条件　建物を撤去する目的で売却するのですから解体整地の上、所定の期限までに完全に撤去すること

右入札希望者は庶務課で入札心得書の交付を受け現地下見の上入札日時までに入札場に到着すること

市民税（第三期分）督促納期限…十一月末日

街頭税務相談所の開設

11月25日公光町質屋会館、26日国鉄芦屋驛北前西山新聞店10時より15時まで芦屋税務署幹部出席。国税に関する一切の税務相談。苦情相談を承ります。納税者皆様の多數御来所を歡迎致します。

霊園の予約申込

朝日ケ丘に建設中の公園墓地芦屋市霊園の第一期工事は、着々進捗中で、本年度中に大部分が完成する予定です。只今霊園建設事務では日曜、祭日も墓地希望の向に予約の申込を受付けておりますから御立寄の上御相談下さい。

珠算教室開講

第3回珠算教室が公民館で11月14日から始まっています。毎週日曜と水曜の後7時―8時半で來年3月迄。募集人員は60人、受講料は月百円、申込は公民館（電五二三六）へ。

移民募集

只今北米カリフォルニヤ州の葡萄園行きの移民が募集されています。戦災者か海外引揚者に限り全国で百名、希望者は市役所商工課へ。

豊臣秀吉○末川博　法と自由○伊藤整　文学と人間○久野久　火山及火山岩○高津春繁　印欧語比較文法○尾谷あい子　癌と闘う○ヴイノグラドスカヤ　マルクス夫人の生涯○石井友幸　誰にもわかる進化論の教室○ハリバートン　世界驚異めぐり○成田潔英　木から紙になるまで○津田栄　化学の傾向と対策○A・S・ニイル　自由の子供○山川黙　原色日本高山植物図鑑○有沢広巳　日本の生活水準○A・R・バローズ　ターザン物語（第一巻）其他多数購入、火曜以外毎日9―17時開館、閲覧無料

小槌町、市立図書館（電五九七八）

寒い冬を過ごしましょう。

（芦屋市消防署）